ヤングフォレスター7始動 ~若い力で目指す地域林業活性化~

東北森林管理局 三八上北森林管理署 (元 米代東部森林管理署) 大水 香澄 東北森林管理局 米代東部森林管理署 大野 由芙子 秋田県大館市 産業部農林課 千葉 泰生

1 背景

米代東部森林管理署管内には大館市、鹿角市、北秋田市、小坂町、秋田県 鹿角地域振興局と同北秋田地域振興局の7つの行政組織があり、各組織の林 務担当部署には20代の若手職員が多くいます。現在、林業の成長産業化、 施業の集約化などの課題があり、その解決策の一つとして民国の連携が進め られていますが、林務を担当する若い職員が一体となって地域林業の活性化 を目指す動きは活発ではありませんでした。そこで、平成29年8月に米代 東部森林管理署が事務局となり、各組織の若手林務担当者を中心に構成され る「ヤングフォレスター7」(以下、「YF7」という。)を立ち上げました。

2 活動の目的と概要

YF7は自由な意見を尊重し、活動を通して各組織の担当者が林業に関する見識を深めることと、組織間の連携を深めることにより、地域林業の活性化を目指すことを目的としています。平成29年度から平成30年度の活動は表1のとおり行いました。

表 1. 活動内容

平成 29 年度	
第1回	組織紹介(森林管理署)、森林整備計画についての学習
第2回	一貫作業システム現地検討会への参加、
	種苗業者の苗畑における現状と課題等の意見交換
第3回	第2回 (現地) のふりかえり、低コスト施業についての学習、

	組織紹介(大館市)、林業関連イベントへの参加報告
第4回	地域林業の課題解決に向けたワークショップ、
	平成 29 年度の活動のまとめ、平成 30 年度の活動計画
平成 30 年度	
第1回	人事異動による新メンバーへのYF7概要説明、
	平成 30 年度の活動計画
第2回	列状間伐現地検討会、出前授業(木育)について話し合い

3 活動の成果

各回の活動後に参加者を対象に実施したアンケート結果からは、「他組織や担当外の業務について学ぶことができた」、「他組織と連絡や相談がしやすくなった」、「林業に対する意識が変わった」など、実務における変化や意識の変化を感じていることがわかりました。また、「YF7で学んだ国有林の事業の成果を業務に活用した」という報告も寄せられ、活動を通して参加者の見識が深まり、業務改善に繋がったことが分かりました。さらに、本活動で多く設けているワークショップ等を用いた話し合いの時間については、他組織との貴重な情報交換の機会であり、業務に対するモチベーションの向上にも繋がっていると考えられていることも分かりました。

4 今後の展望

これらの結果から、本活動は参加者の地域林業の課題に取り組む能力や意識の向上につながり、地域林業の活性化へ向けた民国の連携を深める一助になったと言えます。

参加者の間に「YF7として地域の林業のために何か発信したい」という 意識も生まれていることから、平成 30 年度は出前授業 (木育) の実施を目 指し具体的な話し合いを進めています。また、自由な話合いの中で生まれる 若手ならではのアイデアを積極的にとりいれながら、林業の魅力を発信でき るような活動を継続し、地域林業を盛り上げていきたいと考えています。